

## 頻繁に使われる「和製英語」について

鈴木 敦 巳

### はじめに

我々日本人が毎日使っている日本語の中に、いくつあるか見当もつかない程の外来語がある。それらの元は英米語から来たもの、あるいはドイツ語、フランス語、オランダ語等様々である。本稿では、その語源をさぐるのではなく現在日本人によって使われている英米語にしぼって、その正しい使い方を調べてみたい。英語を書いたり話したりする時に、疑いもなく本物の英語だと思っているものが、実はまったくの「和製英語」であったりする場合がある。日本人同志の会話、日本人が読む物なら意味はわかるので、ほとんど問題はないのである。ところが、「和製英語」を使うと、英米人との意志疎通が図れなかったり、誤解を招いたりすることがある。本稿は、筆者自身日頃よく見聞するものを、その都度メモしておいたものの中から取捨選択したものである。

#### ・モーニングサービス

喫茶店で、朝10時頃までパンやタマゴなどをコーヒーに付けたりすることだが、英語では教会の朝の礼拝のことを morning service と言う。

#### ・カフェテラス

屋外にある喫茶店の意味で使われているが、cafe は軽食堂の意味。屋外にあると言う意味は特にない。

#### ・ジュース

100%天然のものについてのみ juice と言う。100%天然でないものは、orange drinks とか、orangeade などと言う。

#### ・シュークリーム

その発音のまま英語にすると shoe cream は、靴をみがくクリームになってしまう。cream puff が正しい。

#### ・バイク

自転車以外の二輪車を指して使われているが、bike は bicycle の短縮形である。つまり自転車のことである。エンジンのついた二輪車は、motorbike, motorcycle。

• ベビーカー

baby car は小型自動車のことで、赤ちゃんを乗せるベビーカーは、stroller と言う。

• ダンプカー

正しくは、dump truck と言う。

• ガソリンスタンド

和製英語では、～スタンド式のものが多いが、これもその一つ。正しくは、gas station, filling station と言う。

• ペーパードライバー

運転免許証はもっているが、まったく運転をしない人のことを言う。これにピッタリあてはまる英語は聞いたことがない。説明的に言うしかない。

• モデルチェンジ

車の型を変える場合によく使われるが、英語では、change to a new model と言う。

• キャンピングカー

正しくは、camper と言う。

• ジェットコースター

遊園地などにある恐ろしい乗物。正しくは、roller coaster と言う。

• ドライブウェイ

車庫などから一般公道までに行ける私道のことを、英語では driveway と言い、日本で使われている意味はまったくない。

• B.G, O.L

最近あまり B.G と言う言い方は聞かれなくなったが、O.L はまだよく使われているようだ。B.G は business girl, O.L は office lady で働いている女性を指しているのだが、両方共和製英語。business girl は、「売春婦」の意味もあるので要注意。

• オールドミス

結婚していない若くない女性のことをさしているが、英語では、spinster と言う。

• ウーマンリブ

女性解放運動のことをさす場合、Women's Liberation Movement が正しい。略した場合、Women's Lib.

• ナイスミドル

魅力的な中年の男性をさしている。nice と middle-aged を組み合わせて作った和製英語。

• ハイティーン

teen-ager, ティーンエイジャーは普通13才から19才を言う。18~19才ぐらいの年をさして言うのだろうが、ハイティーンと言う英語はなく、one's late teens で表わす。

• ガードマン

日本で言う警備員。守衛の意味なら単に, guard。英語の guardsman は, 州兵, 軍人の意味になる。

- フェミニスト

女性に対して親切でやさしい男性を言う意味で使われているが, 英語の feminist にはそう言う意味はなく, 「女性解放論者」をさす。

- レインシューズ

言うまでもなく雨の時に履く雨靴のことだが, rain boots と言う。

- エナメルシューズ

光沢のあるエナメル製の靴のことであるが, 英語では, patent leather shoes と言う。

- ボールペン

正しくは, ballpoint pen と言う。

- シャープペンシル

正しくは, automatic pencil と言う。

- ポケットベル

営業などで外に出て仕事をしている人たちが, ポケットに入れてベルが鳴るからこの名称がついたのだろう。英語では, beeper と言う。

- ストープ

日本では部屋を暖房するものを, 石油ストーブ, 電気ストーブのように言うが, 英語では, stove ではなく, heater が正しい。stove は料理の時に使うものである。

- レジデンス

英語の residence は, 特に大きく立派な住宅などをさす。日本で使う時は, apartment と言う方が適切な場合が多い。

- ライブハウス

生演奏をする喫茶店などをさすが, live house と言っても英語では通じない。

- レストランシアター

ショーを見ながら食事のできるレストランのことを言う。英語では, dinner theater。

- ベットタウン

大都市に通勤している人たちが, 住んでいるのは大都市からかなり離れた地域。それをさしているが, 英語では, ただ単に suburb と言う。あるいは説明的に言えば良い。

- ルームクーラー

部屋を冷房するからルームクーラーと言うのだけれど, 英語では, air conditioner と言う。エアコンと略しても英米人には通じない。

- アフターサービス

商品購入後に, 修理してもらったりすることをさすが, 英語では, after-sale(s) service と言う。

・ サービス

日本語では、「サービス」には「ただ」「無料」の意味で使われているが、英語にはその意味はない。無料の意味なら free を使う。※duty-free shop。

・ リストアップ

不特定多数の中から一定の基準をもうけて選び一覧表、目録などを作ることを言うが、英語では単に、list で十分。

・ ベースアップ

給料を上げることを意味するが、賃金を上げることを英語では、pay raise と言う。

・ テーブルスピーチ

結婚披露宴などの場で祝辞を述べることを言うが、英語では、after-dinner speech 又は単に、speech でよい。

・ フリートークング

free talking は英語らしく見えるが、自由に討論することは英語では、free discussion と言う。

・ コンパ

学生間でよく「新入生歓迎コンパ」「おいだしコンパ」のように使われる。英語で言うなら、party で十分。又は、companion party。

・ フラワーランゲージ

日本語をそのまま英語にして、「花言葉」は誤り。the language of flowers が正しい。

・ スピードダウン

スピードを上げる時は、speedup と言うが、スピードを落とす場合英語では、slowdown と言う。

・ シンボルマーク

何かの象徴として使うしるしのことだが、英語では、symbol あるいは、emblem でよい。

・ ペーパーテスト

口答試験は、oral test と正しく使われているが、筆記試験のことは正しく written test と使われてない。

・ カンニング

試験の不正行為をさすが、正しくは、cheat と言う。

・ A.M.とP.M.

午前を表わす、A.M.と午後を表わす、P.M.の使い方が日本人はまちがっていることが多い。正しい書き方は、7A.M.は午前7時。9P.M.は午後9時。

・ マカロニウエスタン

イタリアで製作された西部劇を言うが、英語では、spaghetti Western と言う。

・ スタンドプレー

観客席をわかすための派手なプレー。英語では、grandstand play と言う。

・オープン戦

プロ野球が開幕する前の非公式な試合をさすが、正しくは、exhibition game と言う。

・フリーサイズ

特に衣類で体の大きい人でも小さい人でもだれにでも合うようなサイズをさす。英語の表示は one size fits all が使われる。

・コンプレックス

コンプレックスと言えば、日本では「劣等感」の意味でしか使われないが、劣等感は, inferiority complex, 優越感は, superiority complex と言う。

・ミス

「誤り」のことをさしているが、mistake が正しい英語である。

・トランプ

英語では、cards であり、トランプをするは、play cards である。

・アポイント

人に会う約束のことをさすがひどい場合は、「アポ」がとってあるなどと言うが、正しくは、appointment と言う。

・コモンセンス

日本では「常識」と言う意味で使われているが、英語の、common sense は、思慮分別のあることを言う。知っていて当然という場合は、common knowledge を使う。

・アンバランス

精神的な意味で不安定な状態をさす時は、unbalance を使うことが多く、一般的に、不安定、不均衡な状態を言う時は、imbalance を使う。

・ハッピーエンド

「あの映画はハッピーエンドでした。」のような使い方をするが、正しくは、happy ending と言う。

お わ り に

本稿を、頻繁に使われる「和製英語」と題したが、その使用頻度を計ったわけではない。筆者自身の狭い体験、例えば、毎年学生を引率する「海外研修旅行」で学生が使っている英語。あるいは、新聞、雑誌、テレビやラジオ、街の看板の中から気づいたものを単に拾い集めた。

選んだ基準は、実際に英語を使用する場合に、よく使われそうで誤りやすいものを紹介した。筆者は日頃「和製英語」を正しい英語と対比して学ぶことが英語上達につながると考えている。紹介した語数は少ないが参考になれば幸いです。